参考資料２

第１回
川辺川の流水型ダムに係る環境保全対策
アドバイザリー会議

別冊資料
【モニタリング調査地域・調査地点図（案）】

令和７年６月13日

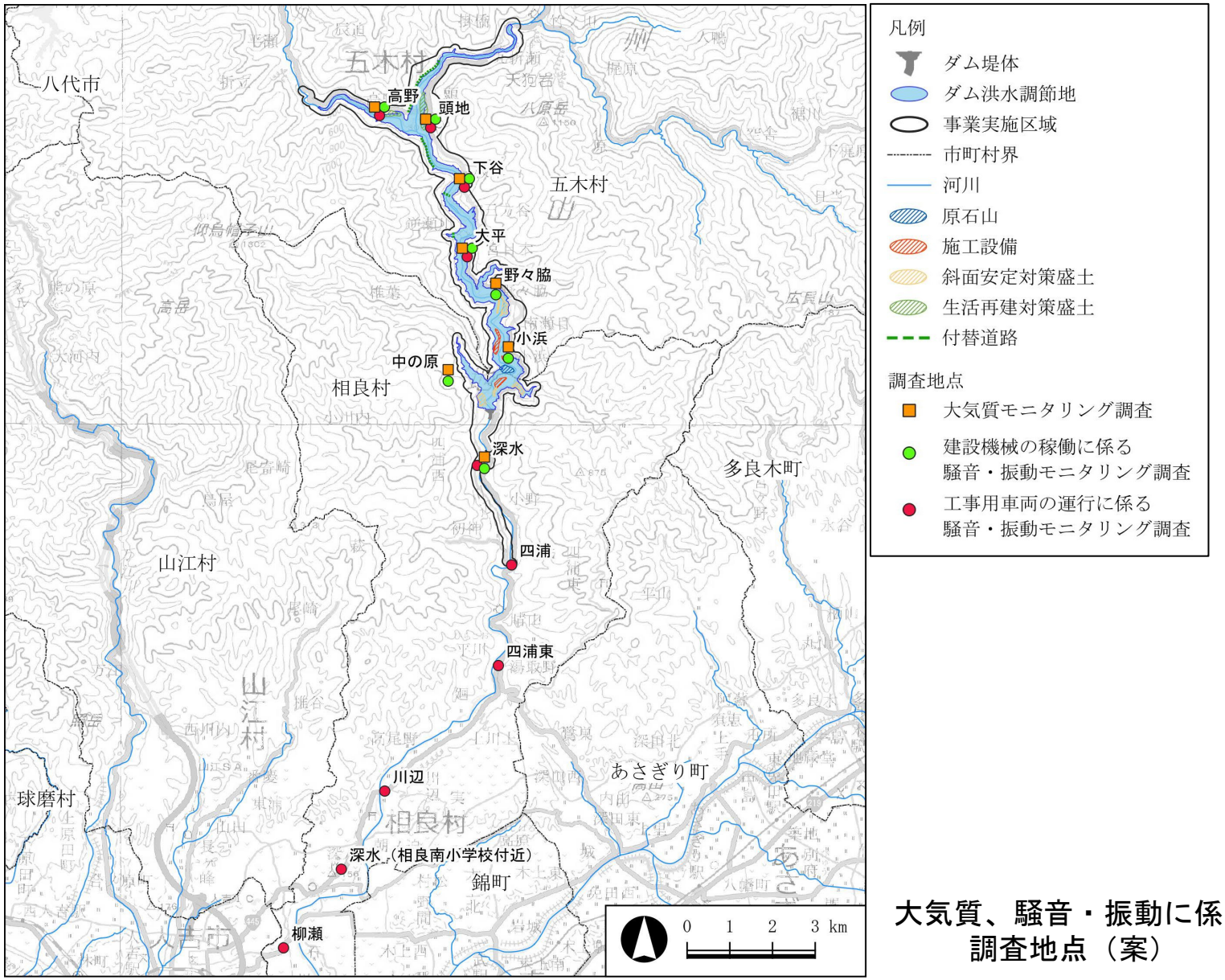
国土交通省 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所

目　　次

3-1　大気環境	1
3-2　水環境	2
3-3　動物	5
3-4　植物	5
3-5　生態系	6
3-6　景観	11
3-7　人と自然との触れ合いの活動の場	12

3-1 大気環境

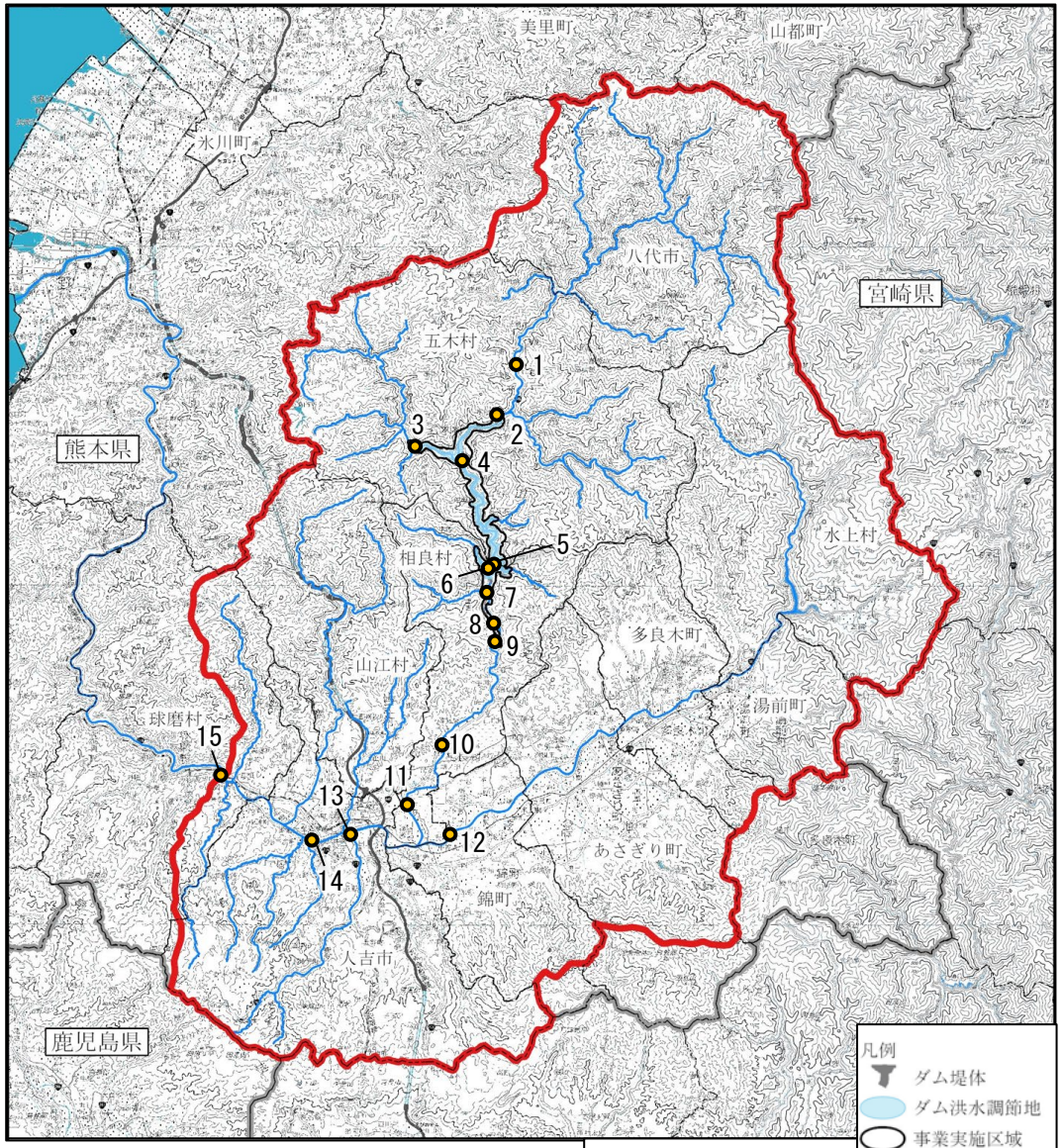
大気質、騒音・振動に係る調査地点（案）



大気質、騒音・振動に係る
調査地点（案）

※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

モニタリング調査地域・調査地点図（案）



3-2 水環境
水質に係る調査地点（案）

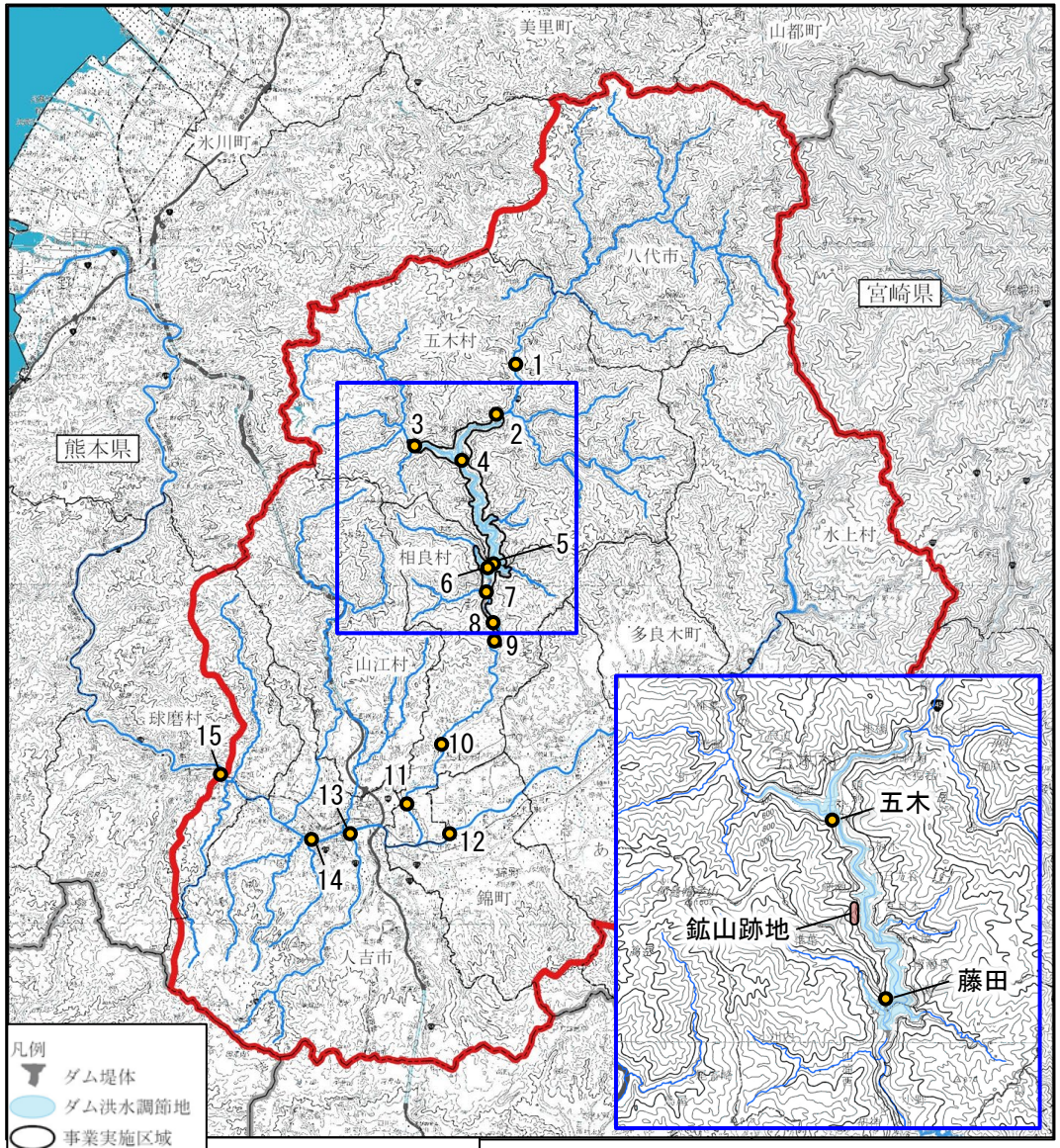
調査	対象期間	手法 採水分析	手法 自動監視装置	15 渡	14 西瀬橋	13 人吉	12 一武	11 柳瀬	10 川辺大橋	9 四浦	8 大神橋	7 ダム直下	6 ダム直上	5 藤田	4 五木	3 元井谷	2 神屋敷	1 五木宮園
平水時の定期的な調査	A B C	○	–	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●
試験湛水時調査	B	○	–	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●
常時の水質監視	A B C	–	○	●				●			●	●				●	●	
出水時の調査	A	○	–	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●
出水時の調査	B C	○	–	●	●	●	●	●	●			●				●	●	●
濁水発生時調査	B	○	–	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	
シルト成分堆積の監視	C	–	–	←	―	―	―	―	―	―	―	→						
側岸部等の堆積物調査	B C	–	–										←	―	→			
水平透明度調査（新たな水質評価）	A B C	–	–				●	●	●			●	●	●	●	●	●	●
試験湛水時末期のSS巻き上がり対策効果確認調査	B	○	–	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●
		–	○	●			●	●			●	●				●	●	
沈砂池等のSS低減効果モニタリング調査	A	○	–	沈砂池設置位置が決定次第、水質調査地点（沈砂池流入地点、沈砂池放流地点）を設定														
濁水処理施設のSS低減効果モニタリング調査	A	○	–									●		●				
PFASに係る調査	A B C	○	–									●				●	●	

水質自動監視装置のうち、●は新規設置予定地点。

【調査機関】
●：川辺川ダム砂防事務所　●：八代河川国道事務所　●：熊本県

【対象期間】
A：工事中　B：試験湛水中　C：ダム供用後

モニタリング調査地域・調査地点図（案）

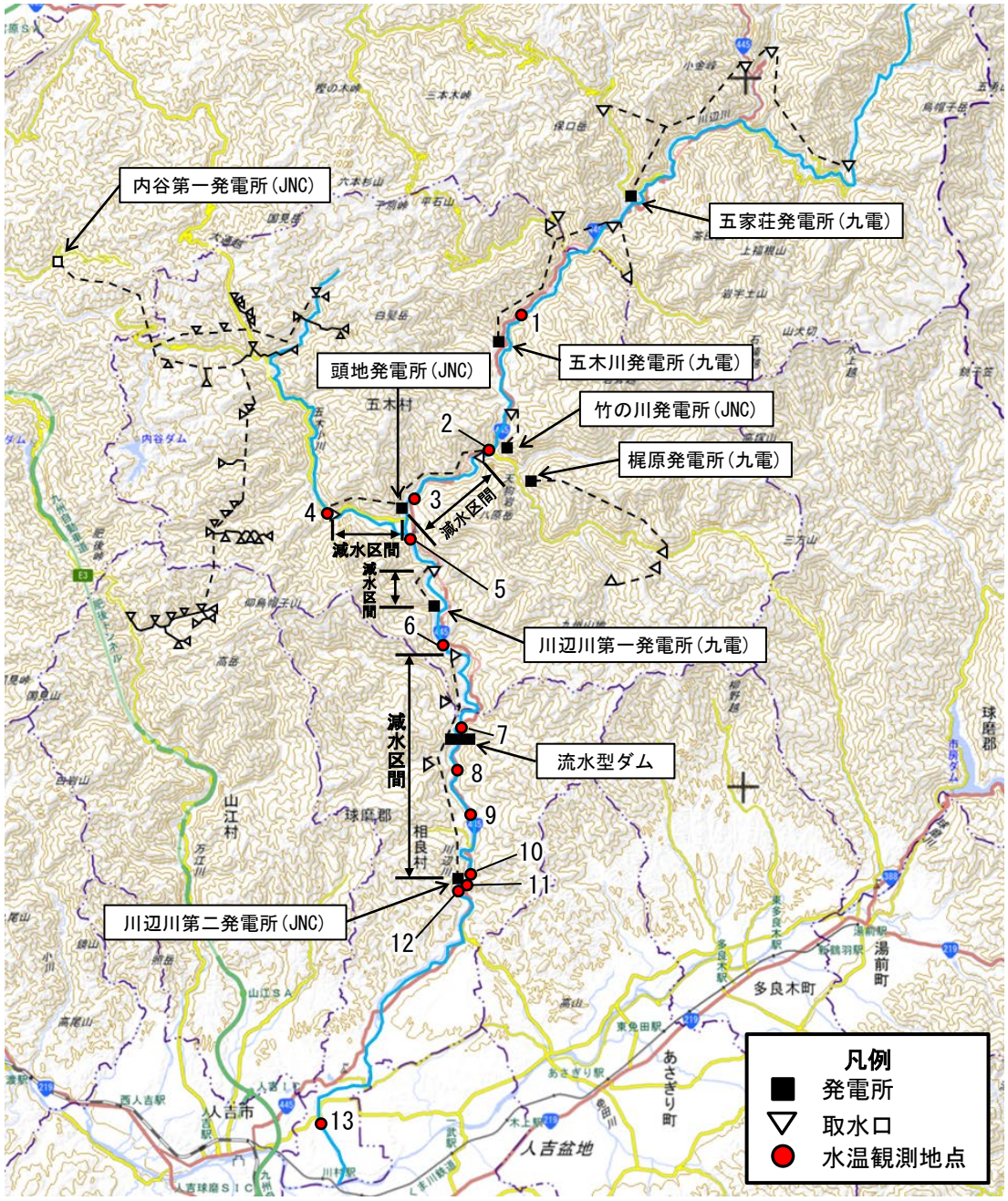


3-2 水環境
抗廃水に係る調査地点（案）

調査	対象期間	手法		15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
		採水分析	自動監視装置	渡	西瀬橋	人吉	一武	柳瀬	川辺大橋	四浦	大神橋	ダム直下	ダム直上	藤田	五木	元井谷	神屋敷	五木宮園
坑廃水に係る調査	A B C	○	－											●	●			

【調査機関】
● ：川辺川ダム砂防事務所　● ：八代河川国道事務所　● ：熊本県

【対象期間】
A：工事中　B：試験湛水中　C：ダム供用後



3-2 水環境
気候変動を踏まえた水温に係る調査地点（案）

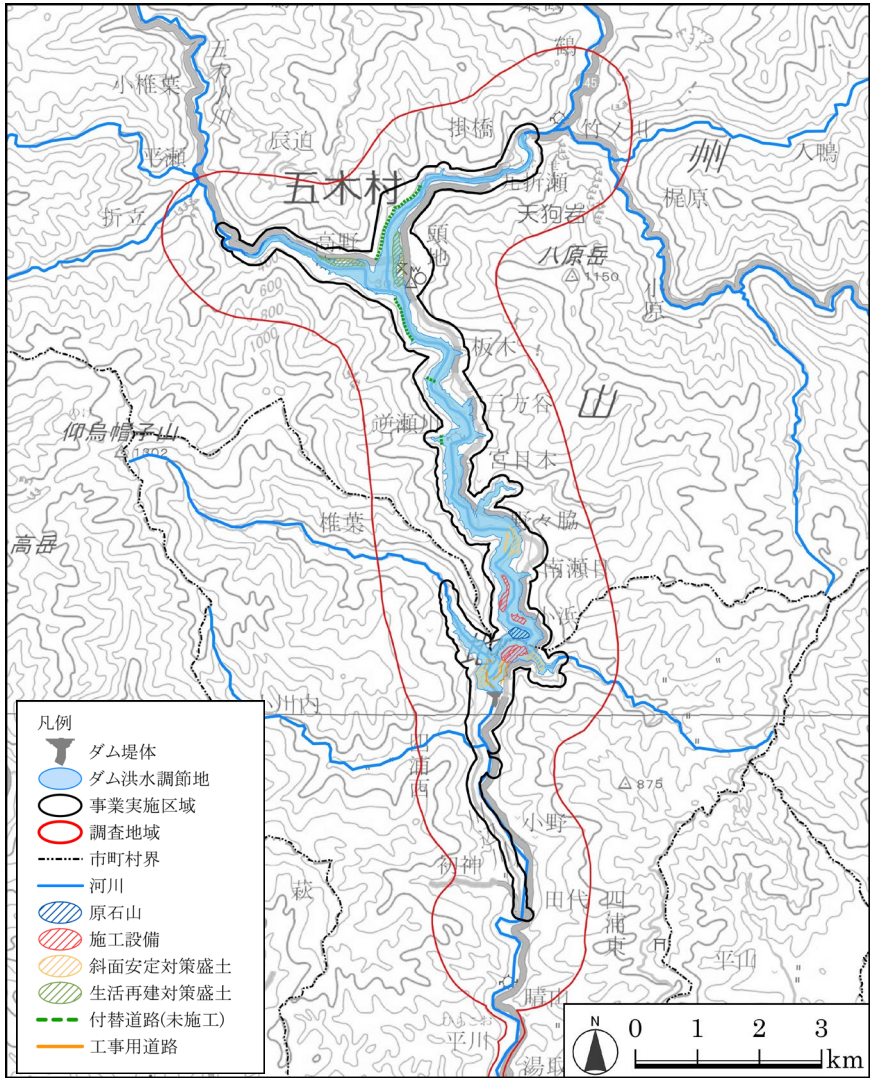
調査	対象期間	手法	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
		採水分析 / 自動監視装置	柳瀬	川辺川第二発電所放流口下流	川辺川第二発電所放流口直下	川辺川第二発電所放流口上流	大神橋	ダム直下（新深水橋）	藤田（藤田上流）	銀杏橋	五木（五木小川合流点）	元井谷	頭地発電所付近	神屋敷	八重橋
水温調査	A B C	— / ○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

【調査機関】
●：川辺川ダム砂防事務所

【対象期間】
A：工事中　B：試験湛水中　C：ダム供用後

3-3 動物

哺乳類・両生類・陸上昆虫類・底生動物・陸産貝類に係る調査地域（案）

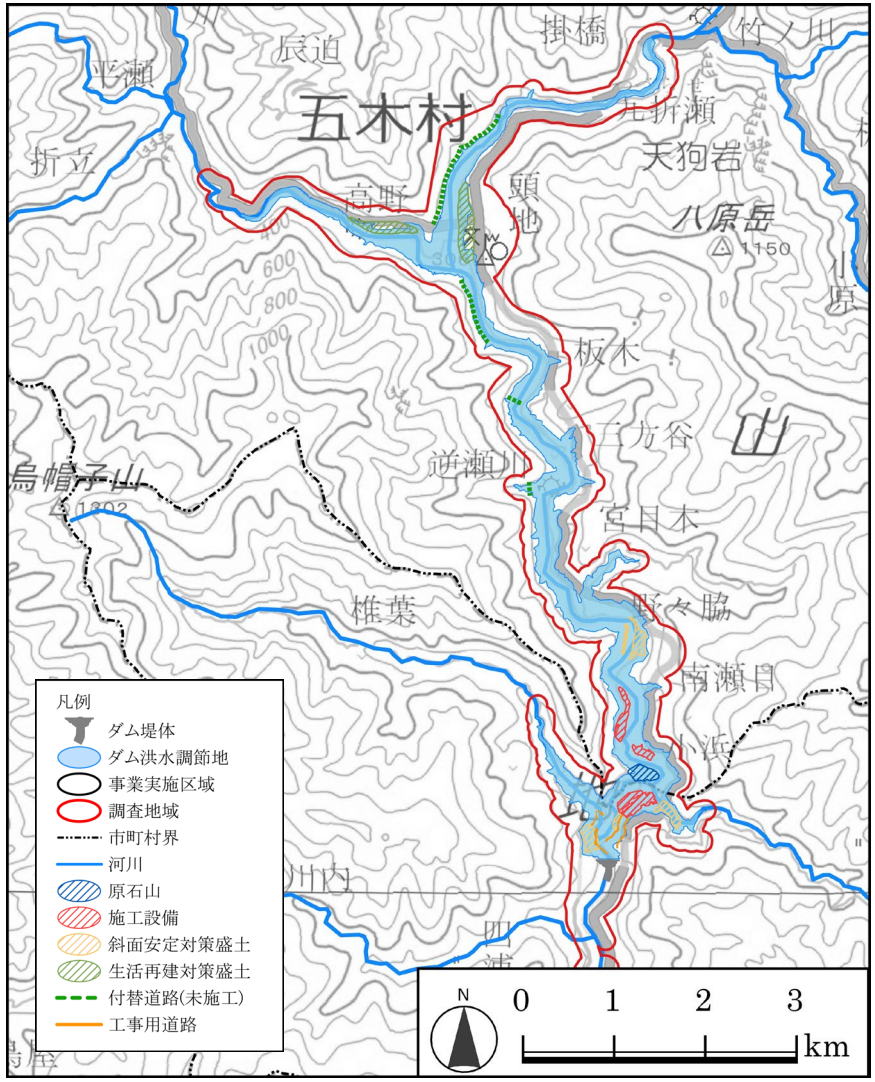


※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

調査地域（案）

3-4 植物

種子・シダ植物・蘚苔類に係る調査地域（案）

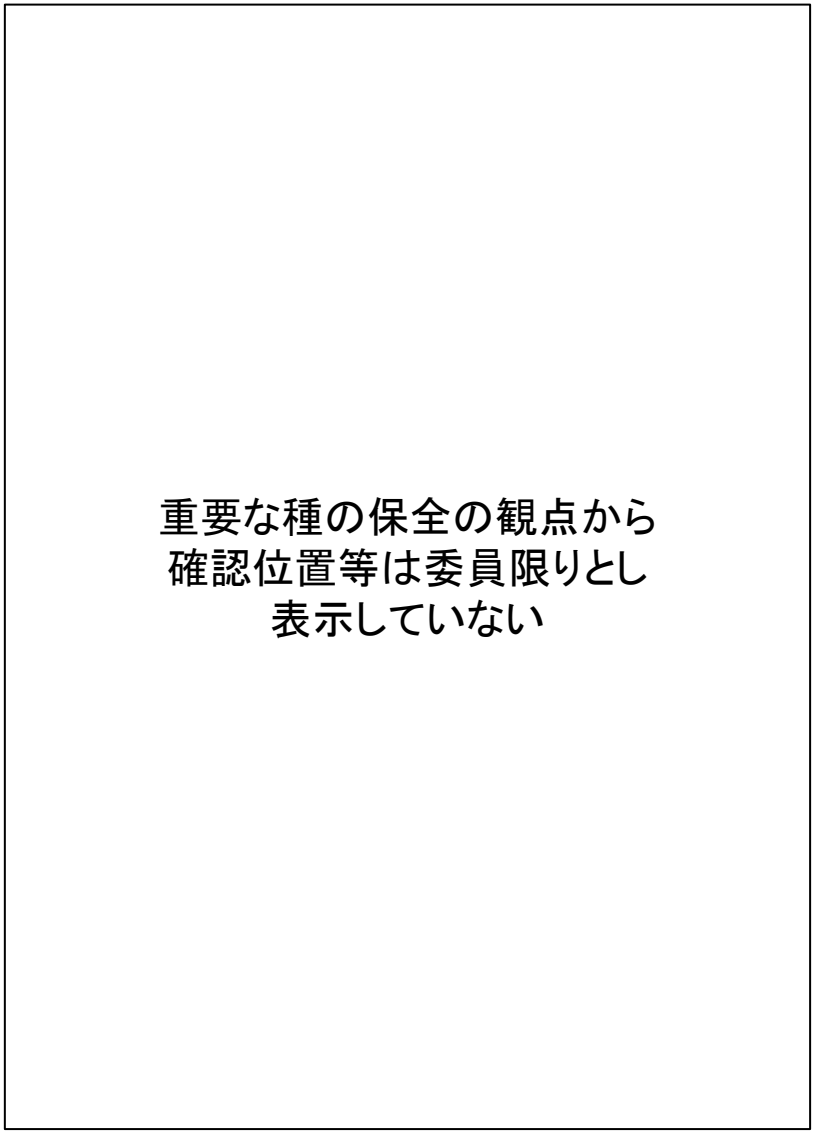


※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

調査地域（案）

3-5 生態系

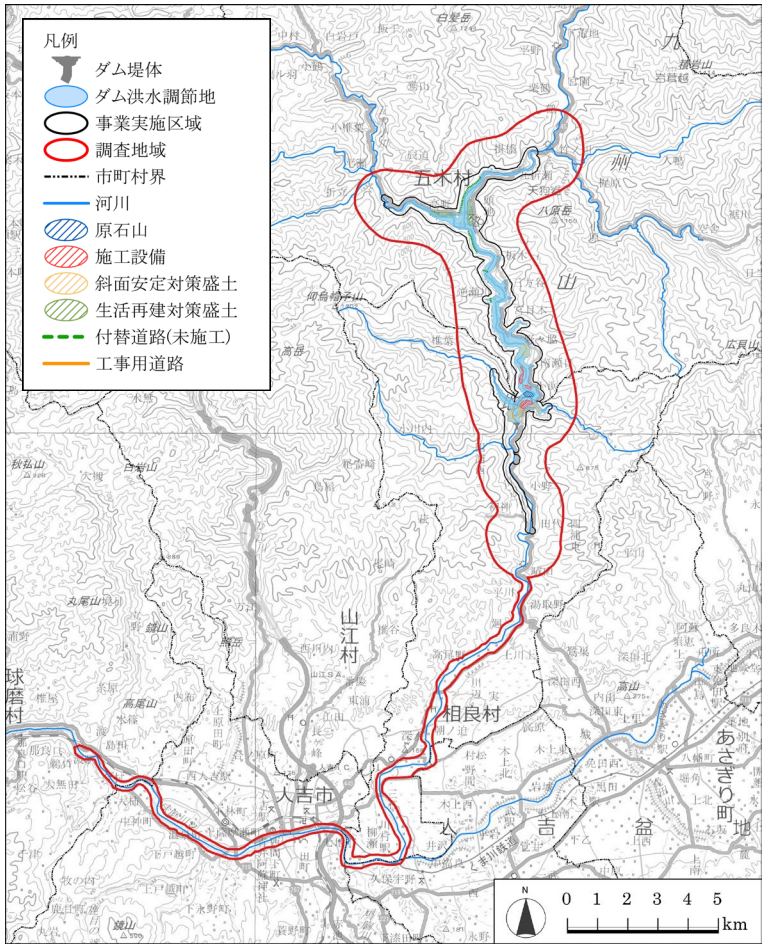
1）生態系上位性（陸域）に係る調査地域（案）



調査地域（案）

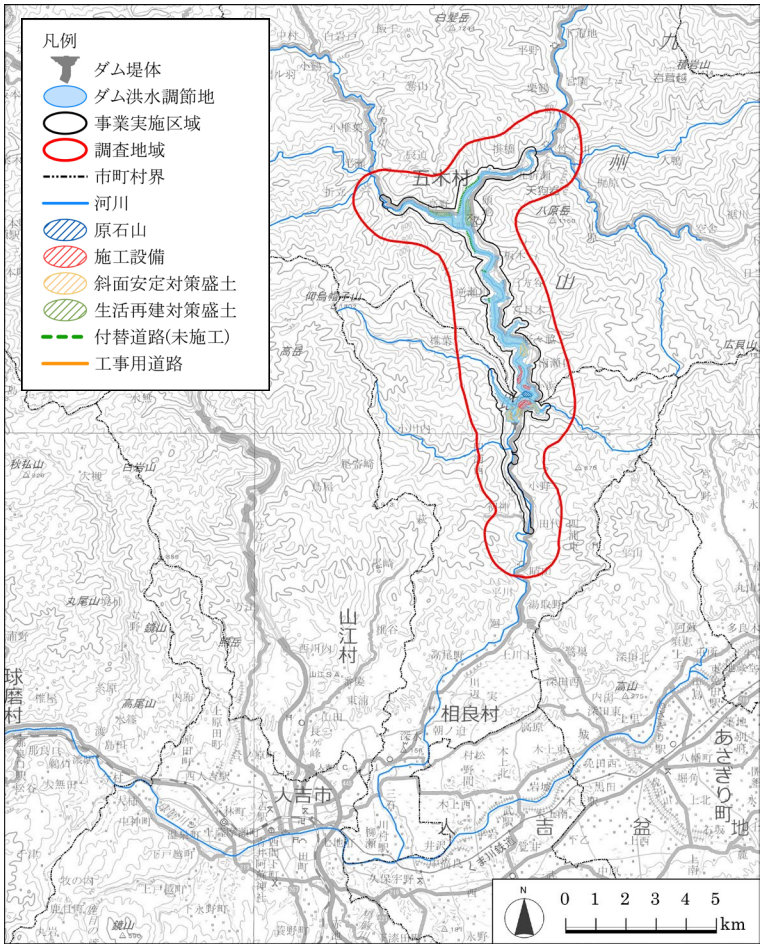
3-5 生態系

2）生態系上位性（河川域）に係る調査地域（案）



※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

全つがいの調査地域（案）



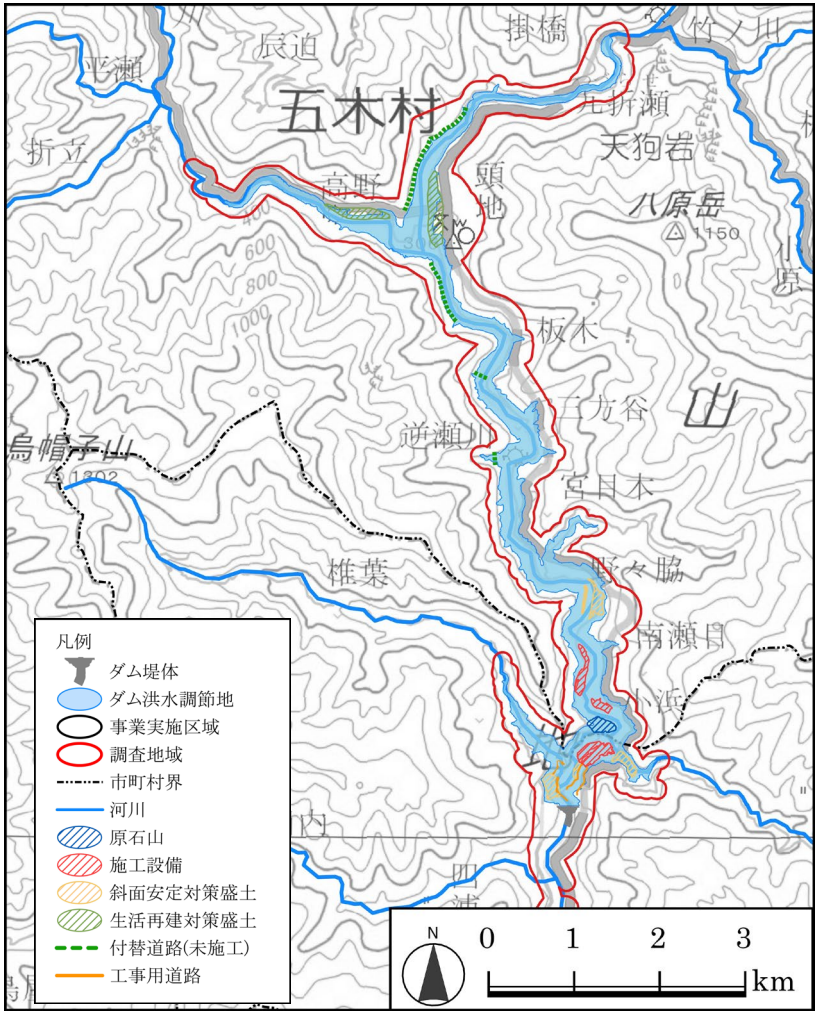
※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

環境保全措置対象のつがいの調査地域（案）

3-5 生態系

3）生態系典型性（陸域）に係る調査地域及び調査地点（案）

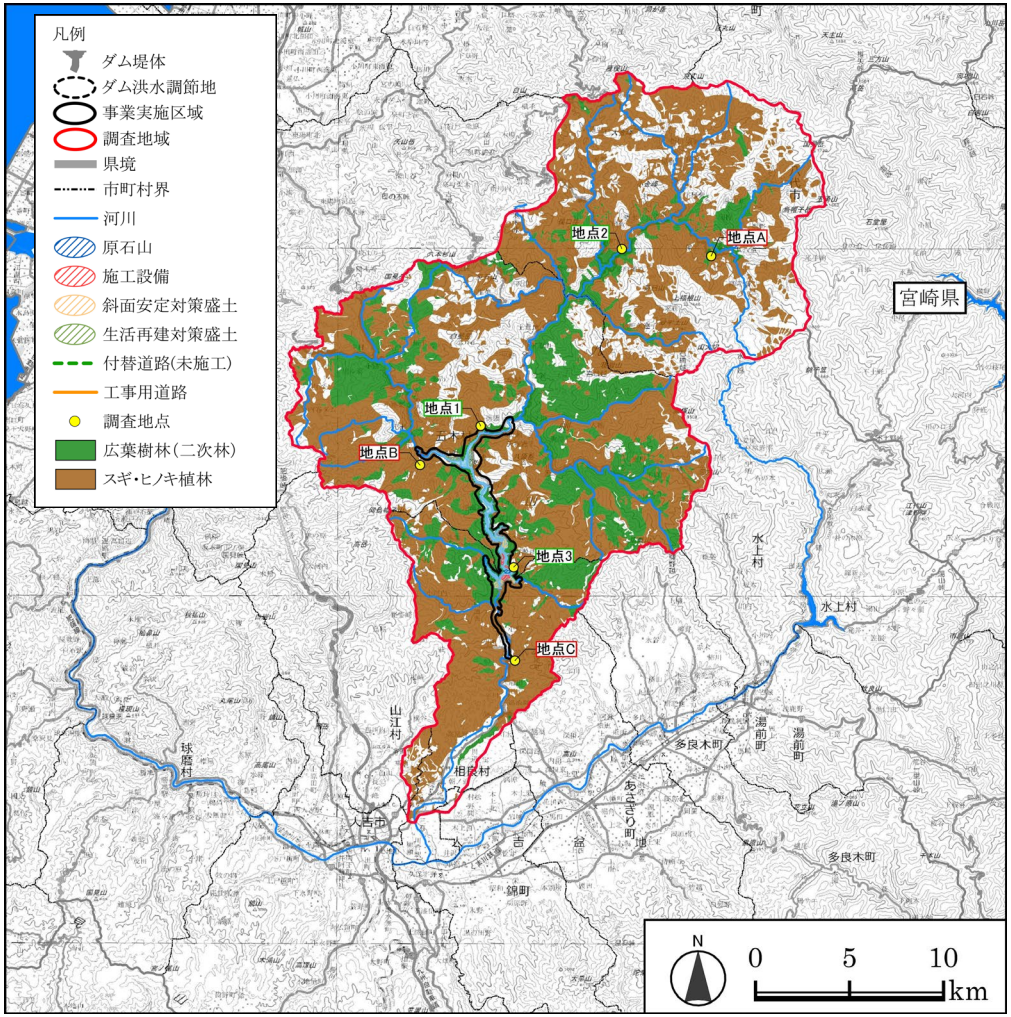
①ダム洪水調節地の植生モニタリング、緑化モニタリング



※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

調査地域（案）

②生息・生育状況の把握



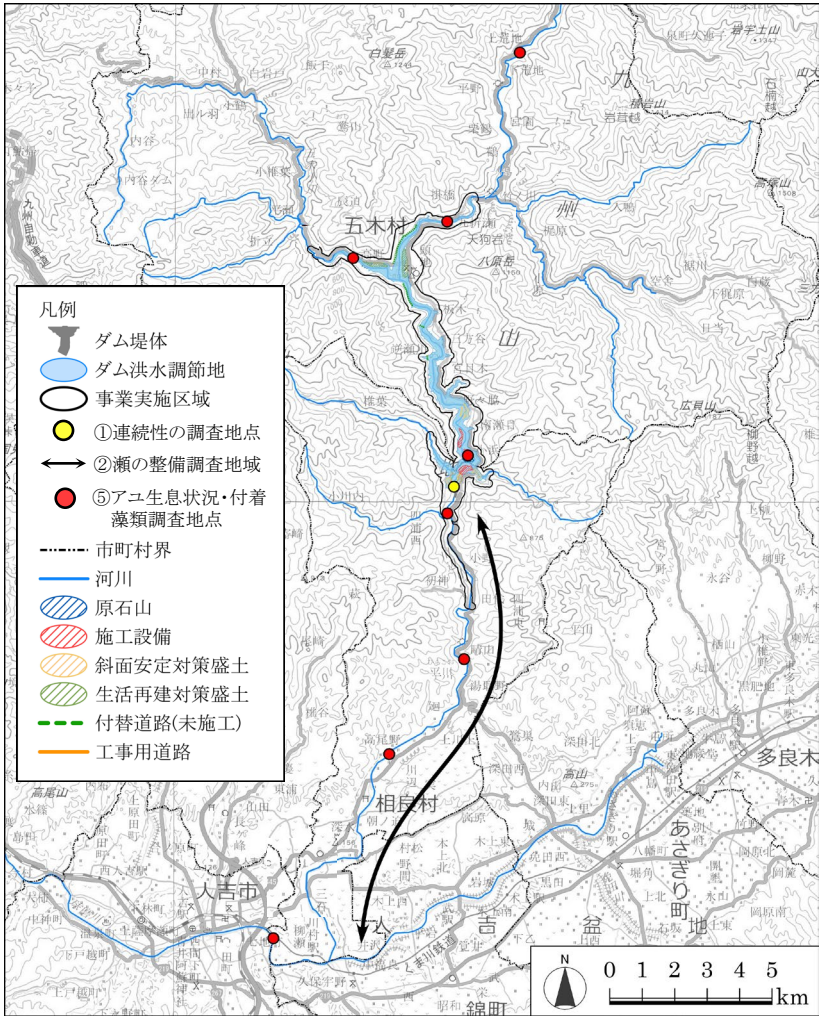
※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

調査地域及び調査地点（案）

3-5 生態系

4）生態系典型性（河川域）に係る調査地域及び調査地点（案）

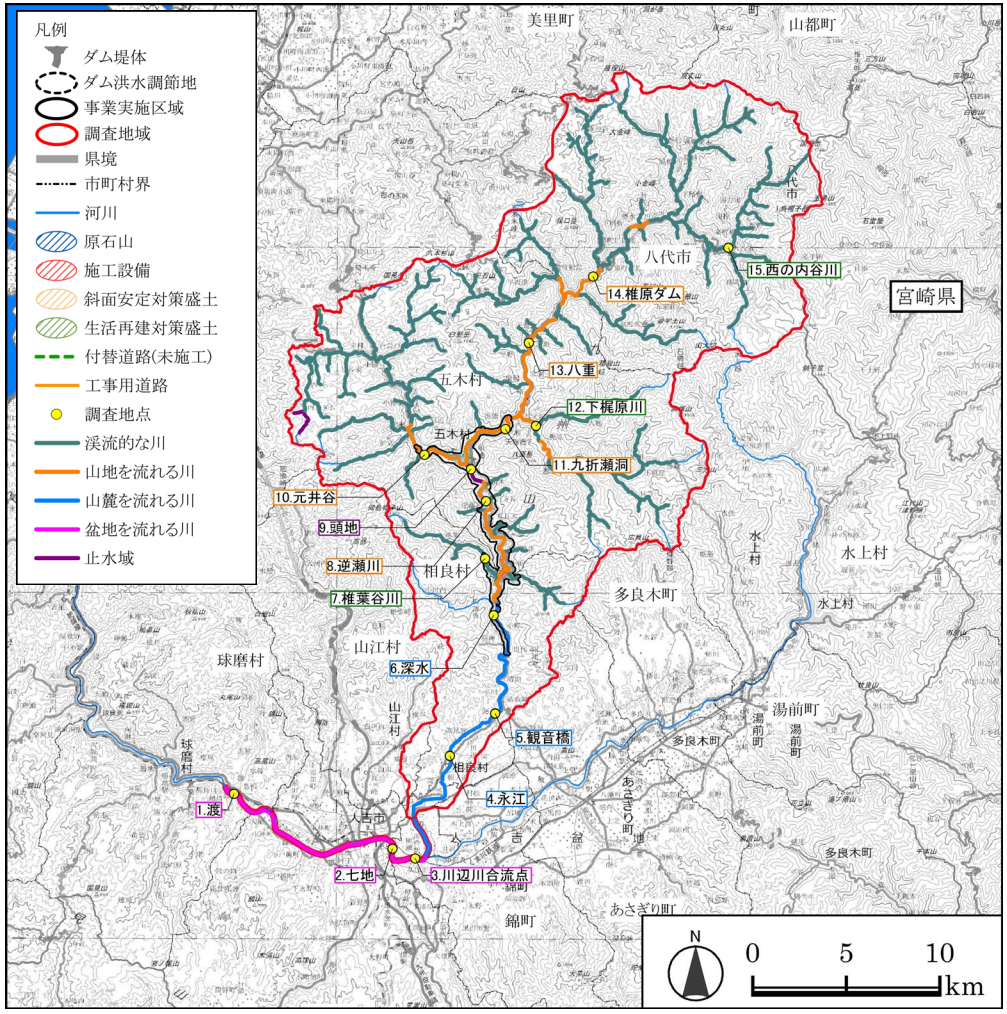
①仮排水路トンネル・河床部放流設備の連続性、②アユの生息環境の整備（瀬の整備）、④アユの生息状況の監視・付着藻類調査



※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

調査地域及び調査地点（案）

③-1生息・生育・繁殖状況の監視とその結果への対応、③-2陸域からの有機物供給の変化の把握、③-3水の濁りの変化による生息環境の変化の把握

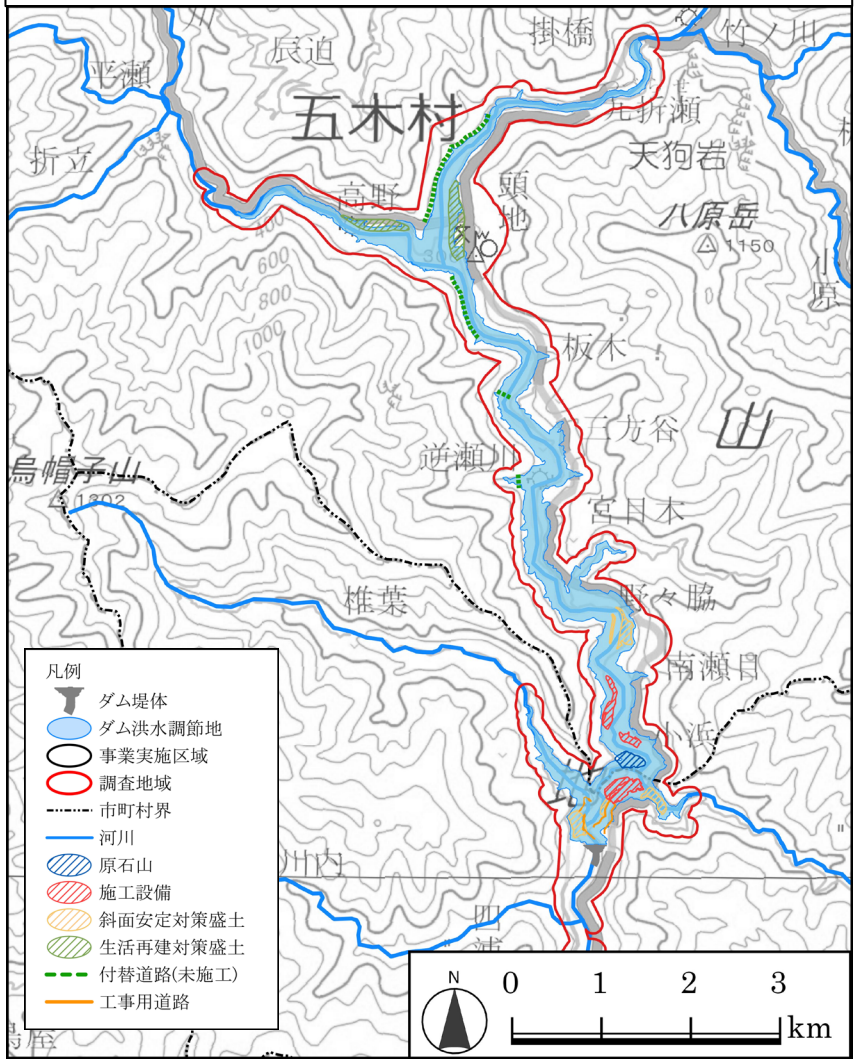


※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

調査地域及び調査地点（案）

3-5 生態系
4）生態系典型性（河川域）に係る調査地域（案）

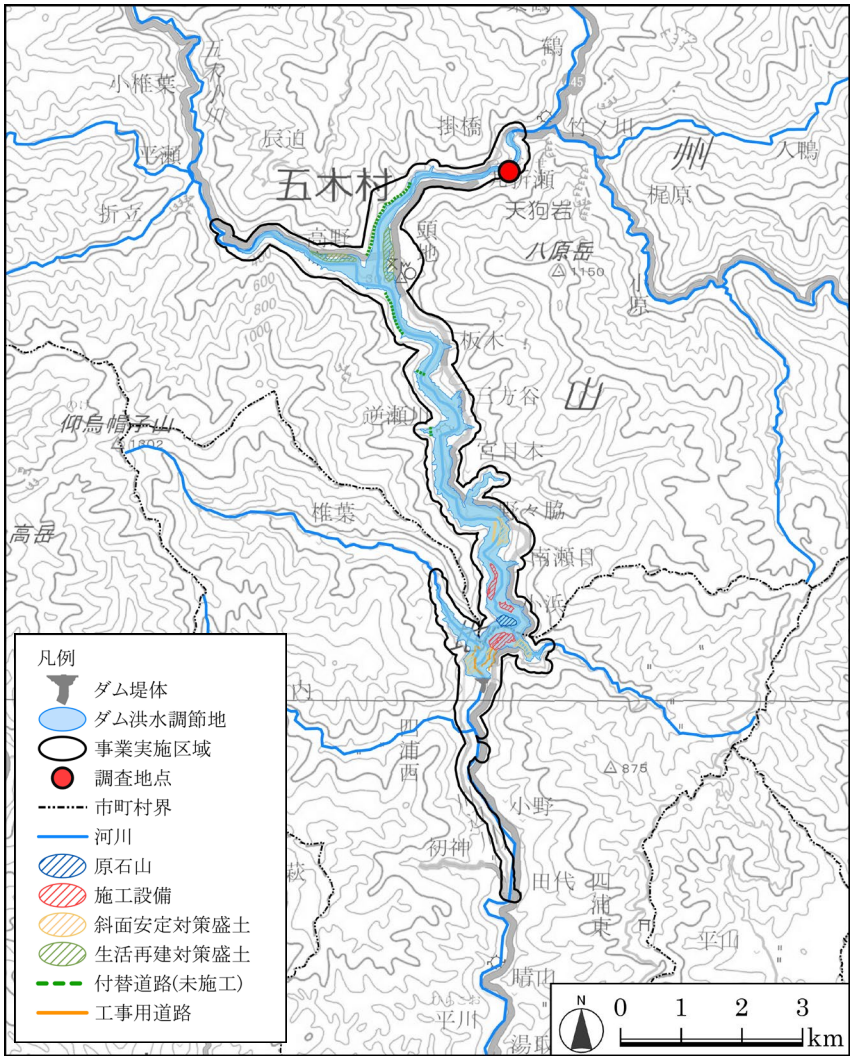
③-4ダム上下流の連続性の把握、③-5ダム洪水調節地の環境の変化の把握、③-6ダム洪水調節地の低標高部の植生の監視



※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

調査地域（案）

3-5 生態系
5）生態系特殊性に係る調査地点（案）

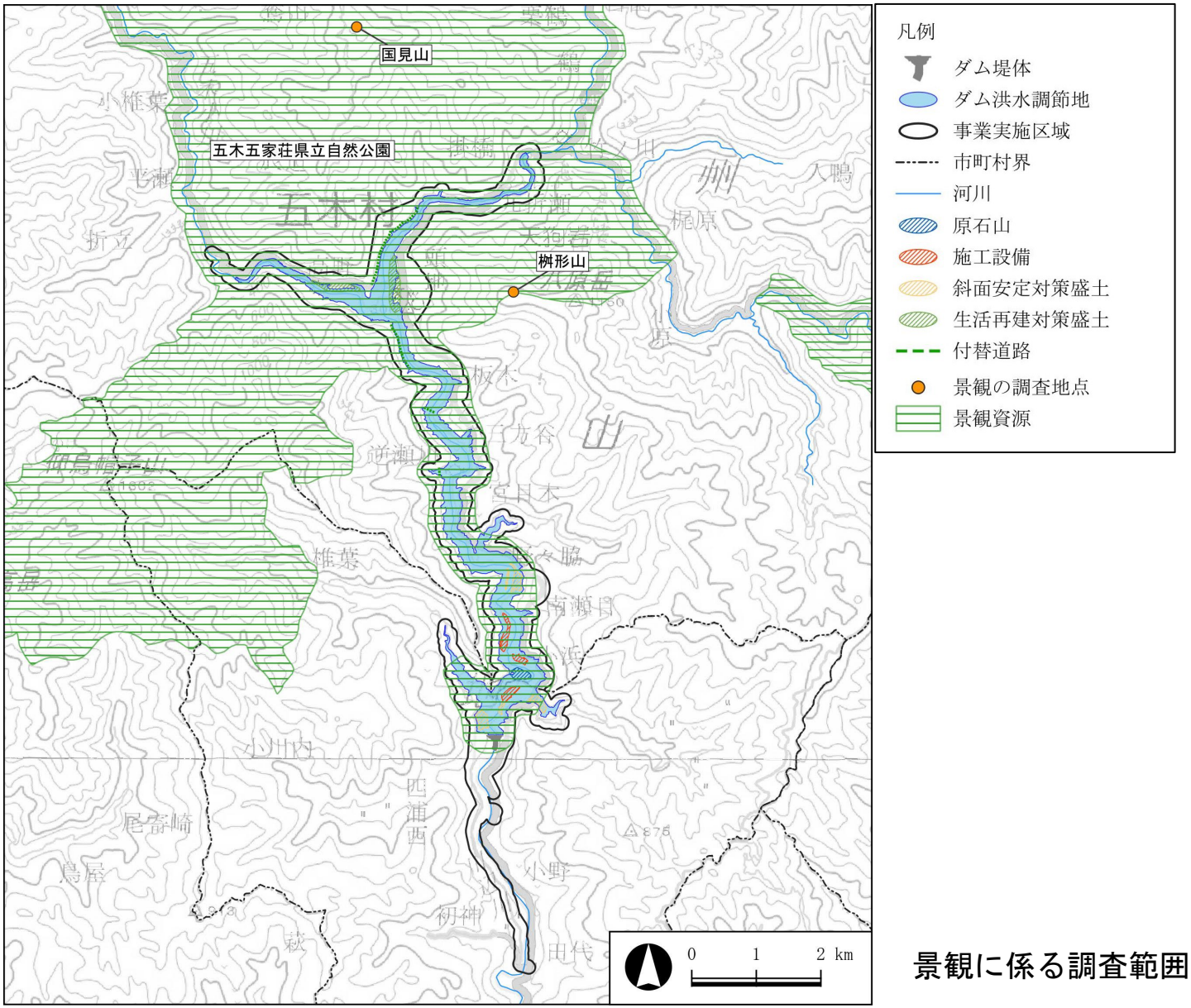


※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

調査地点（案）

3-6 景観

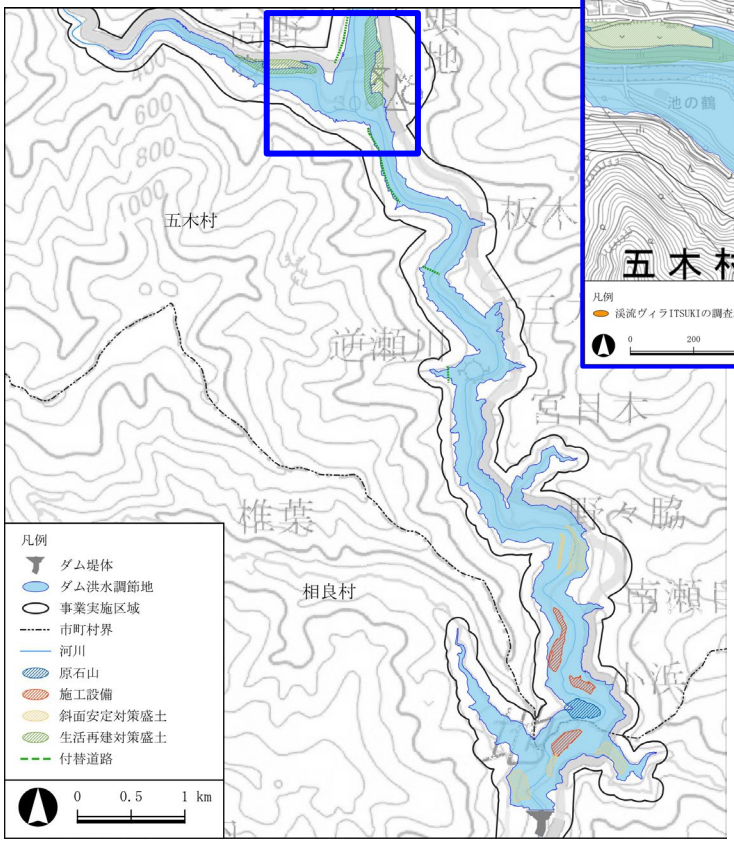
景観に係る調査範囲（案）

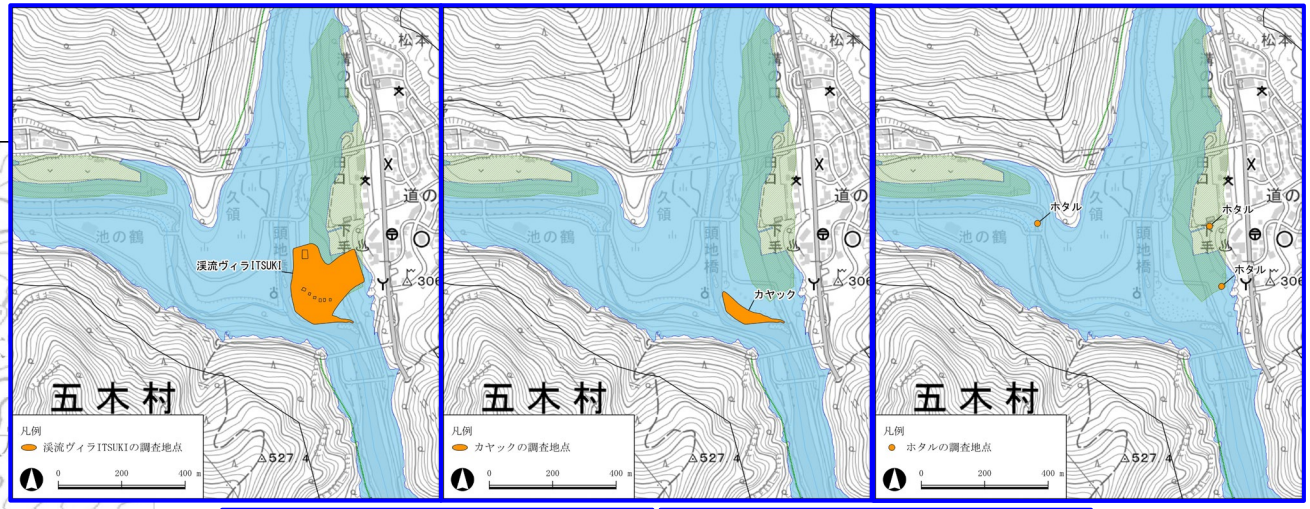


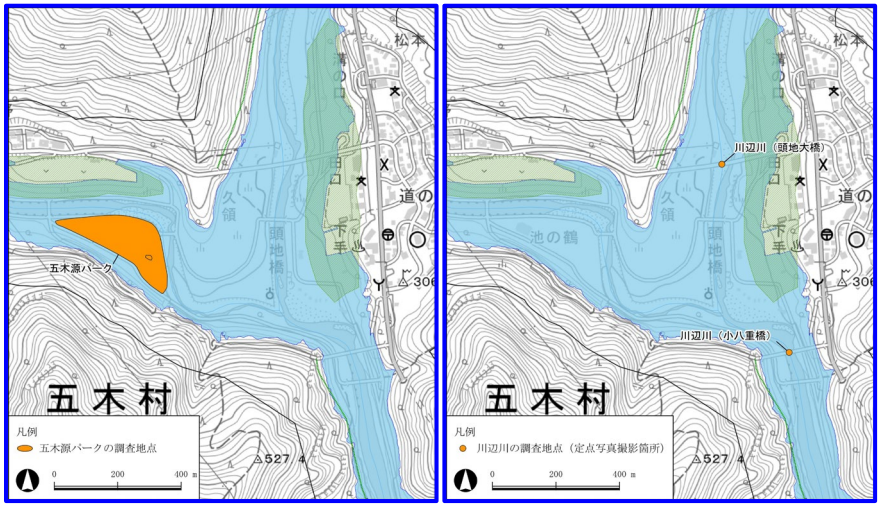
景観に係る調査範囲（案）

※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

3-7　人と自然との触れ合いの活動の場
人と自然との触れ合いの活動の場に係る調査範囲（案）







※凡例の工事箇所は「川辺川の流水型ダムに関する環境影響評価レポート」（国土交通省九州地方整備局　令和6年10月）時点のものである.

人と自然との触れ合いの活動の場に係る調査範囲（案）